

JFEシステム建築協力会

全国大会に200人参集

JFEシビル、金沢で開催



JFEシビル(藤井善英社長)は4日、日航ホテル金沢でJFEシステム建築協力会全国大会を開催し、約200人が参集した。講演

ではNHKのテレビ番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」に出演した、現代の名工の杜氏、農口尚彦氏が「魂の酒」と題して講演。懇親会では農口氏の造った酒が振る舞われた。

藤井社長は「業績は好調だが、とりわけシステム建築と、大型物流倉庫など建設部門がけん引した。新中計では売上高1000億円を目指しているが、すでに受注は900億円を超え、達成可能な目標になっている」と報告。「計画達成のキーになるのが、システム建築協力会。会員の皆さまが使いたいと思う製品、技術、工法を提供する

ために全力で取り組んでいく」とあいさつした。続けて「Eコマースによる行動、消費、物流などの大きな流れの変化を捉えるべき。また、熟練工が減少する中で、システム建築に対するニーズは高くなっている。スーパーゼネコンからシステム建築で手伝ってほしい」という話も来ている」と締めくくった。

JFEスチールの村上陽一・北陸支社長は「北陸3県の経済規模は日本全体の2%で、鋼材の需要も2%。災害の少ない土地柄ということもあり、まだ発展の可能性を秘めている」と北陸がこれから先も大いに盛り上がっていくと話した。

会では、会員の販売実績に応じて優秀賞、優良賞、奨励賞を表彰したほか、営業力のアップにつながった会員に特別賞を贈った。